

研究タイトル:

法・政策・地域に関する研究



氏名: 竹原 信也 / TAKEHARA Shinya E-mail: takehara@libe.nara-k.ac.jp

職名: 講師 学位: 修士(政策科学)

所属学会・協会: 法社会学会、オーラル・ヒストリー学会

キーワード: 法・ルール 政策 地域・まちづくり

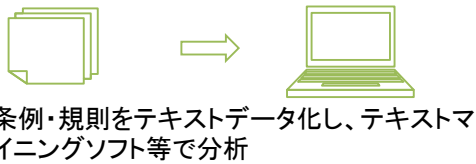
技術相談
提供可能技術:

- ・法制度の制度設計
- ・まちづくり活動の支援
- ・地域コミュニティの課題解決

研究内容: インタビュー調査や量的調査を用いた法・ルールの実態分析



2011年の「別子銅山 地域の絆・記憶の継承事業」



市長	1651	市民・個人	534
職員	1466	法人・企業	407
議会	323	委員・委員会	799

A市の条例における語彙の出現数
条例・規則の分析についてのイメージ

法・地域・政策をキーワードに幅広く研究を行っています。例えば、行政やまちづくり団体と協力して、産業遺産について人々の記憶(鉱山での仕事や社宅での生活)を記録しながら、まちづくりや観光に活用する事業に協力しました(「別子銅山、地域の絆・記憶の継承事業」)このような生活経験者の語りを記録にし、分析・考察を行い地域の生活文化を明らかにする研究をしています。

また、地方自治体の条例・規則をデータ化し、文言に出てくる市長、職員、住民、議員といったアクターの出現頻度と権利と義務を付与する語彙(例:~しなければならない、~することができる)の出現頻度を調べ、両者の関連性を分析しました。このように定量的・客観的に法・ルールの実態を分析することができる調査方法の開発を試みています。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	